



令和7年度学校経営方針

1 児童・地域の実態

本校の児童は、**思いやりのある子が多く**優しく人に接することができる。**学級目標を意識した学年・学級経営**を中心に、児童会のなかよし班活動等で、互いを認め合う関係づくりに努めている。また、**朝の読書活動**を一日の始まりとして、落ち着いて授業に取り組み、友達と関わりながら学習する姿が見られている。

一方で、自分の思いや考えを表出することや粘り強く課題に取り組むことに消極的な面が見られ、学校課題を中心に手立てを講じている。また、配慮を要する児童への対応も**組織的に**取り組んでいるところである。

本校学区は、中心に例幣使街道が通り、**日立創業者の小平浪平翁生誕の地**であり、令和7年**1月15日に生誕150年**を迎えた。また、**創立152周年**を迎え、歴史ある本地区を誇りに思える児童の育成を、地域の方と協力して取り組んでいる。

2 経営理念（関連法規：教育基本法第1条・学校教育法第29条）

教育の目的は児童生徒の人格の完成にあり、小学校においては義務教育の基礎を施すことを目的とする。小学校は児童の人格の完成の基礎、即ち「生きる力」の基礎を培う教育の場である。本校では、人格の完成の基礎を培う児童の姿を「よりよい自分になる姿」と捉え、**よりよい自分になる学校**を経営理念とする。これは**校歌**にある**「自律の気風生むところ」**に関連し**「自律」**を促進する経営を行う。経営理念具現化の進捗状況は**校務運営委員会**で確認し、全教職員が**同一歩調**で学校経営に反映させていく。

3 教育目標

本校の教育目標は、**考える子 明るい子 たくましい子** である。

人格の完成は知・徳・体の調和によって成り立つ。よって、考える子の実現のために**知育部**、明るい子の実現のために**徳育部**、たくましい子の実現のために**体育部**の3指導部会を組織に位置付け、具現化を図っていく。

4 本年度の経営ビジョン

よりよい自分になるためには、他者と協働しながら主体的に学ぶことが求められる。そのためにも、**「児童主体の教育活動」**を展開していくこととする。特に、**特別活動の3視点「人間関係形成**（違いを認め合い、みんなと共に生きていく力）」**「社会参画**（よりよい集団や社会をつくろうとする力）」**「自己実現**（なりたい自分に向けてがんばる力）」を踏まえた、児童主体の学年・学級経営の充実を図り、よりよい自分になるための手立てとする。

5 本年度の目指す児童像

本年度の経営ビジョンを具現化し、教育目標を実現するために、本年度達成する目指す児童像を3指導部会で設定した。

知育部	自分の考えをもち、自信をもって発表できる児童
徳育部	互いを認め合い、友達と協力することができる児童
体育部	心と体の健康を考えることができる児童

本年度中に目指す児童像に近づくよう、3指導部会の長を中心に実践を進めていく。目指す児童像実現に向けて、全教職員の**共通認識**のもと、**同一歩調**で日々の授業や生活における指導を重ねていく。その際、**児童を褒めて伸ばす**ことを基本とする。

6 本年度の重点

経営ビジョン「**児童主体の教育活動**」を具現化するために、

次の5つの重点項目と5つの具体策を定め本年度の学校経営を進めていく。

(1)から(3)のうち、○の付いた項目は3指導部会で学期ごとに評価する。

(1) 自分の考えをもち、自信をもって発表できる児童の育成（主に知育部が担当）

- 自分の考えを書く時間を確保する。
- 自分の考えを発表し、聞き合う時間を作る。
- 読書、MIM、KKタイム、お話タイムによって学習の基盤を作る。
 - ・「とち介の学び」による授業改善を柱とした学習指導の充実と情報活用能力の育成
 - ・多様な他者と協働して課題を解決するグローバル教育（受容性・SDGs・外国語）の実践

(2) 互いを認め合い、友達と協力することができる児童の育成（主に徳育部が担当）

- 道徳の授業の工夫（相互理解のための教材研究や場の設定）
- よりよい集団づくりのために話し合える指導の実践
- 自己肯定感を高めるための場の設定
 - ・自治的な態度を養う特別活動の意図的・計画的な指導（事前・事中・事後）の実践
 - ・多様な他者と協働し、よりよく生きようとする力を高める道徳教育・人権教育の実践

(3) 心と体の健康を考えることができる児童の育成（主に体育部が担当）

- 十分な運動量を確保し、児童ができる喜びと楽しさを味わえる体育授業の展開
- 衛生習慣の定着を図る保健指導と、バランスよく食べようとする給食指導の実施
- 全ての児童が安心して過ごすことができるように努めた環境づくり
 - ・自他の生命を尊重し、安全で安心な学校生活実現のための安全教育の充実
 - ・児童の発達の段階に応じた体育・健康・保健に関する指導の充実

(4) 教職員の創意を生かした学校づくりの実現

- ・同僚性を基盤として協働し、対話をもとに学校運営への参画意識を高める職場の実現
- ・教育的ニーズに応じた特別支援教育及び組織的・協働的な児童指導・支援体制の充実
- ・学校課題を中心に、各種研究会を踏まえた意図的計画的な日々の授業実践の重視
- ・学級活動の充実を図り、児童の自発的、自治的な取組への積極的な支援
- ・校歌をもとに、各種行事や児童会活動、関連教科の指導を関連させた愛校心の醸成

(5) 地域・PTA・都賀地区小中学校と共に歩む一貫教育の継続【合戦場プライドの育成】

- ・学校運営協議会委員やPTAと共に行う学校づくりの実現
- ・読み聞かせボランティア、図書館ボランティア、ミシンボランティアや、稲作体験学習、絵手紙講座、合戦場の歴史など、地域の教育力を生かした教育の推進
- ・地域コーディネーターと行う「小平浪平翁学習（生家見学・浪平翁の生き方を学ぶ）」の継続と茨城県会瀬小学校との連携
- ・平川駐在所、PTA、栃木警察署スクールサポーターと連携した安全対策の継続
- ・義務教育9年間の連続性を意識した小中一貫教育の実施及び幼・保との連携